

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

神川町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

埼玉県児玉郡神川町

### 3 地域再生計画の区域

埼玉県児玉郡神川町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の人口は2000年の15,197人をピークに減少しており、13,730人(2015年国勢調査結果)、13,507人(2020年住民基本台帳)まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には、11,543人(2015年人口から約16%減少)に、2060年には、9,428人(2015年人口から約31%減少)になると推計されている。社会増減について、2016年以降転入超過で推移していたが、2020年には25人の社会減になっている。自然増減については、近年、出生数が100人を下回るなど自然減の傾向にあり、2020年は161人の自然減と、人口の減少の大きな原因となっている。また、合計特殊出生率について、2017年は1.13となっており、全国平均(1.43)及び県平均(1.36)を下回っている。年齢3区分別人口構成の推移を見ると、老年人口(65歳以上)が2013年3,366人(23%)→2020年4,168人(31%)と増加する一方で、働く世代である生産年齢人口(15～64歳)は2013年9,194人(64%)→2020年7,910人(59%)、年少人口(0～14歳)は2013年1,788人(12%)→2020年1,429人(11%)と減少している。

このような状況が続くと、人口減少に伴う地域経済の衰退、少子化による地域活力の低下、税収減による行政サービスの低下など、様々な課題が考えられる。

これらの課題に対応するため、次の事項を基本目標に掲げ、若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現を図ることにより自然減に歯止めをかけ、また、移住促進など新しい人の流れをつくるとともに、担い手の育成と安定した雇用の創出

や安心・安全なまちづくり等を通じて社会増につなげる。

- ・基本目標 1 担い手の育成と安定した雇用
- ・基本目標 2 新しい人の流れをつくる
- ・基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

**【数値目標】**

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	工場誘致奨励事業申請事業所数（第2期神川町総合戦略が掲げる基本目標1に係る数値目標「3社の企業誘致」と同義）	2社	3社	基本目標 1
	認定農業者数（第2期神川町総合戦略が掲げる基本目標1に係る数値目標「農業従事者の維持」と同義）	73人	78人	
イ	入込観光客数	709,384人	720,000人	基本目標 2
ウ	年間出生数	55人	50人	基本目標 3
エ	町民アンケートによる「住みよさ」の満足度	52.3%	70%	基本目標 4

**5 地域再生を図るために行う事業**

**5-1 全体の概要**

5-2及び5-3のとおり。

**5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業**

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

神川町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 担い手の育成と安定した雇用事業

イ 新しい人の流れをつくる事業

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域  
を連携する事業

② 事業の内容

ア 担い手の育成と安定した雇用事業

農業の担い手の育成や経営規模拡大の推進、企業誘致・事業規模  
拡大の推進による雇用の創出等、魅力ある就農・雇用の場を創出す  
るとともに、町内商工業者の活性化を支援する事業

【具体的な事業】

- ・ 45歳未満の新規就農者への支援
- ・ 新規作物・新技術導入を支援
- ・ 新規農業参入者に営農に必要な小型機械の購入に要する費用の一部を支援
- ・ 農地の集積化・集約化による農業経営の効率化を支援
- ・ 地域おこし協力隊を活用した担い手の育成
- ・ 特産品（梨）の生産、販売に取り組む農業者を支援
- ・ 新規企業や既存事業所の規模拡大による地元雇用を支援
- ・ 移住者の移住に伴う経費と就業先のマッチングを支援
- ・ 町内小規模事業者の安定的な経営を支援
- ・ 町内事業者が施行する住宅リフォームを支援
- ・ 町内中小企業の設備投資を支援 等

イ 新しい人の流れをつくる事業

観光資源や地域資源を活用し観光客を誘致するとともに、地域に  
おける道路交通網の連携強化に取り組み、更に移住・定住へとつな

げる新しい人の流れをつくる事業

**【具体的な事業】**

- ・一般観光客や訪日外国人観光客の誘客に向けた情報発信
- ・観光ルート看板や案内標識の設置
- ・町内団体による観光振興事業の支援
- ・県事業と連携した周辺整備事業
- ・文化財の保護・活用と歴史と文化の継承
- ・ふるさと納税を活用した地域資源のPR
- ・町道と林道の一体整備
- ・町内事業者が施行する空き家バンク登録物件の入居時のリフォームを支援 等

**ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業**

結婚へ向けた出会いの場を提供するとともに、妊娠から出産への支援、子育てしやすい環境を整備する等、若い世代の希望をかなえる事業

**【具体的な事業】**

- ・結婚に向けた出会いの場の支援
- ・不妊に悩む方を支援
- ・産後うつ予防や乳児の発達や育児への不安の解消
- ・妊娠期から出産、子育て期と包括的に切れ目のない支援
- ・妊娠中、出産に向けての支援
- ・保育施設を整備し保育の受け皿の確保を図る
- ・未就園児の保護者の外出等による一時的な保育の実施
- ・乳児への愛着形成や心と身体の発達、親子間のコミュニケーション能力の実践を通じた支援
- ・子育てに関する各種相談事業
- ・小中学生を対象とした給食費の無償化
- ・18歳未満のこども医療費を無償化 等

**エ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業**

住民が各々の立場でまちづくりに参加し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指すとともに、人口減少・少子高齢化を見据え、広域的な連携による行政運営を推進する事業

**【具体的な事業】**

- ・ 高齢者の外出を支援
- ・ 介護予防事業の実施
- ・ 65歳以上の高齢者の包括的相談の実施
- ・ 認知症等で判断能力が不十分な方の権利を守る。
- ・ 交通事故防止啓発活動を支援
- ・ 大規模災害に備えた自主的な防災組織を支援
- ・ 認知症サポーター養成講座の実施
- ・ 児玉郡市で連携し広域的な課題解決を図る。 等

※ なお、詳細は第2期神川町総合戦略のとおり。

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

10,000千円（2021年度～2024年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度3月に、外部有識者による「神川町総合計画審議会」において、第2期神川町総合戦略における効果検証結果を踏まえ、翌年度以降の取り組みの方向性について検討を行う。検証結果については、速やかに、当町公式WEBサイト上で公表する。

**⑥ 事業実施期間**

地域再生計画認定の日から2025年3月31日まで

**5-3 その他の事業**

該当なし

**6 計画期間**

地域再生計画認定の日から2025年3月31日まで